

大規模災害発生時の動き

～イメージフローチャート～

有効な支援を行うために：

大規模災害時の支援活動は、①直接支援を行う『支援センター』 ②支援活動の初動と後方支援を担う『救援本部』 ③必要な支援を届けるため、そして過ちを繰り返さないための『政策提言』という3本の柱で行います。発災から3日以内に必要な支援が被災地に届き始め、発災から1ヶ月以内には活動に必要な機能が揃っている状態となります。

被災地の状況は、日々刻々と変化していきます。救援活動に1つの正解はありません。必要な支援を、必要なところに届けるために、全国の仲間たちの経験や知識を活かして、有効な活動を展開していきましょう。

